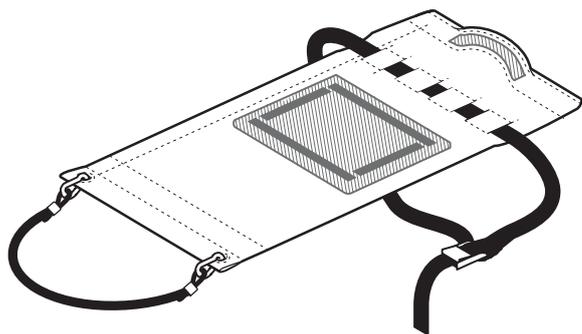


エアバッグ類車上作動処理用防護シート

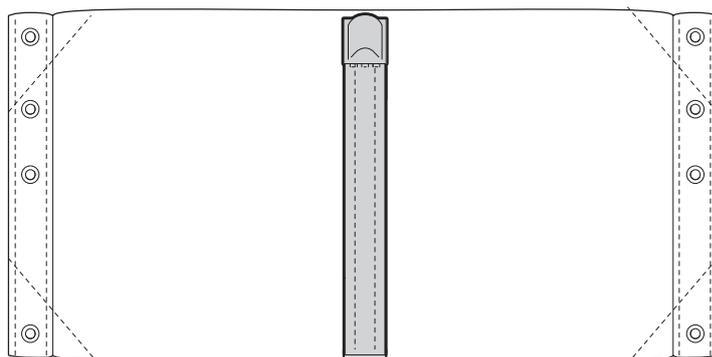
TW709-AIRBD (運転席用) および TW709-AIRBP (助手席用)

取扱い説明書

運転席用



助手席用



本製品を安全に使用するために、このマニュアルをよく読んで理解してから作業をおこなってください。
このマニュアルは所定の場所に保管し、いつでも必要なときに確認できるようにしてください。

目次

はじめに.....	2
このマニュアルについて.....	2
マニュアルの対象者について.....	2
マニュアルの種類について.....	2
マニュアルの対象製品.....	2
マニュアル中の表記について.....	3
使用上の注意事項.....	4
製品の仕様.....	5
1. 運転席側.....	6
各部の名称.....	6
防護シートの取り付けイメージ.....	6
防護シート取り付け前の調整.....	7
ステアリングホイールへの取り付け.....	8
シートへの取り付け.....	9
作動実施前の点検.....	10
2. 助手席側.....	11
各部の名称.....	11
防護シートの取り付けイメージ.....	11
フロントガラスへの取り付け.....	12
作動実施前の点検.....	13
3. その他.....	14
保管方法.....	14
お手入れ.....	14
修理・廃棄について.....	14
保証について.....	14
こんなときは.....	15

はじめに

このたびは、本製品をご購入いただきありがとうございます。

本製品は冠水車等で、異常作動が起こる可能性のある車両を対象としています。

本製品についてのご質問等がございましたら、一般社団法人 自動車再資源化協力機構までご連絡ください。

本製品を本書に記載する手順以外で使用した場合は、保証の対象外となります。

このマニュアルについて

- ・このマニュアル（以降本書）は本製品の性能を正しく発揮させるとともに、ご使用いただく作業者の安全を確保することを目的として作成しています。
- ・本書は必要なときに確認できるようにしてください。
- ・本書の内容を無断転載することは、著作権法上の例外を除き禁じられています。
- ・本書の内容は予告なしに変更することがあります。
- ・本書に掲載されているイラストや写真はイメージであり、実際の製品と異なる場合があります。

マニュアルの対象者について

管理者	車上作動処理の実務に関する責任者
作業者	車上作動処理の作業をおこなう人員

マニュアルの種類について

本製品には以下のマニュアルが同梱されています
取扱い説明書（本書）
クイックガイド

マニュアルの対象製品

型式・製品名

TW709-AIRBD・エアバッグ類車上作動処理用防護シート（運転席用）

TW709-AIRBP・エアバッグ類車上作動処理用防護シート（助手席用）

マニュアル中の表記について

シンボル記号

	禁止事項 ・ おこなってはならない事項を示します。
	指示事項 ・ 必ずおこなう（守る）事項を示します。

シグナルワード

 危険	この表示にしたがわず、誤った取り扱いをした場合、人が死亡または傷害を負う可能性がきわめて高い内容について記述しています。
 警告	この表示にしたがわず、取り扱いをした場合、人が死亡または傷害を負う可能性が高い内容について記述しています。
 注意	この表示にしたがわず、誤った取り扱いをした場合、人が傷害を負う可能性が高い内容について記述しています。

補足事項

本書では補足事項を以下で表示しています。

 知識	特に知っておかなければならない情報を記述しています。
---	----------------------------

使用上の注意事項

ご使用前に

	<p>作業を実施する際は、「エアバッグ類適正処理情報」に示された安全対策*をおこなってください。</p> <p>指示を守らないと、思わぬ事故やケガをまねくおそれがあります。</p> <p>*安全対策</p> <p><代表例></p> <ul style="list-style-type: none">・ヘルメット・手袋・保護メガネの着用・ドア、窓が隠れる全体カバー・遮蔽物に隠れる・5m以上離れる・通電時は周辺への伝達
	<p>シートを使用する前に、破れや破損等がないか確認をしてください。</p> <p>シートを破損したまま使用すると、シートの機能が発揮できず重大な傷害を負うおそれがあります。</p>

ご使用にあたって

	<p>使用中にシートが水濡れするような環境で使用しないでください。</p> <p>シートを濡れたまま使用すると、シートの機能を発揮できず重大な傷害を負うおそれがあります。</p>
	<p>シートを水で濡らさないでください。</p> <p>シートを濡れたまま使用すると、シートの機能を発揮できず重大な傷害を負うおそれがあります。</p>
	<p>シートを地面などで引きずらないようにしてください。</p> <p>シートの破れや破損等につながる可能性があり、シートの機能を発揮できず重大な傷害を負うおそれがあります。</p>
	<p>シートに火を近づけないでください。</p> <p>シートの繊維が熱で損傷し、シートの機能が発揮できず重大な傷害を負うおそれがあります。</p>

ご使用の後に

	<p>シートが水濡れした場合には、速やかに布等でふき取り風通しがよい日陰で干してください。</p> <p>シートを濡れたまま使用すると、シートの機能を発揮できず重大な傷害を負うおそれがあります。</p>
--	---

保管について

	シートは高温多湿を避け、直射日光の当たらない冷暗所で保管するようにしてください。 屋外で保管するとシートの繊維が損傷し、シートの機能が発揮できず重大な傷害を負うおそれがあります。
	シートは水濡れ等を避け、保管するようにしてください。 シートの繊維が損傷し、シートの機能が発揮できず重大な傷害を負うおそれがあります。
	シートの保管時に上に物をのせないでください。 シートの繊維が損傷し、シートの機能が発揮できず重大な傷害を負うおそれがあります。
	シートを折らないように丸めて収納袋に入れ、寝かせた状態にしてください。 上記以外の方法で保管すると、シートの繊維が損傷しシートの機能が発揮できず重大な傷害を負うおそれがあります。

禁止事項

	本製品は日本国内専用品です。輸出等をしないでください。 輸出した場合、輸出貿易管理令違反により罰則を受ける可能性があります。
	本製品を転売しないでください。 本製品には管理番号が付与されており、購入者以外が使用し、事故等が発生しても責任は負いかねます。
	本製品を修理・廃棄する際は、所定の連絡先までお問い合わせください。 万一のときにシートの機能が発揮できず、重大な傷害を負うおそれがあります。

上記3項目を守らなかった場合、助成金を受けている場合は助成金の返還対象となります。また、エアバッグ類車上任働処理契約が取り消しとなる場合があります。

	シートを改造しないでください。 改造すると万一のときにシートの機能が発揮できず、重大な傷害を負うおそれがあります。
	シートから中身を出さないでください。 万一のときにシートの機能が発揮できず、重大な傷害を負うおそれがあります。
	破損したシートを使用しないでください。 万一のときにシートの機能が発揮できず、重大な傷害を負うおそれがあります。

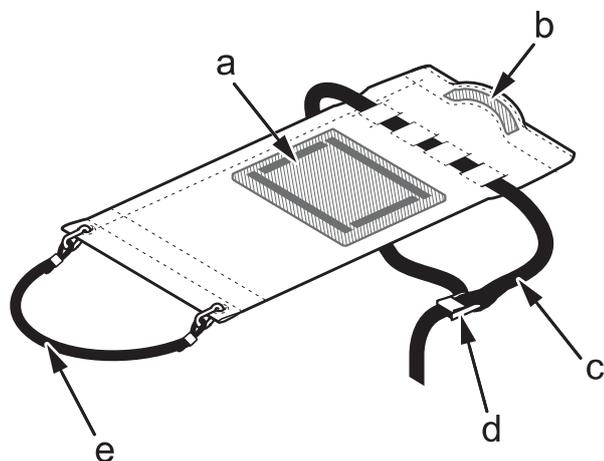
製品の仕様

エアバッグ類車上任働処理用防護シート		運転席用	助手席用
型式		TW709-AIRBD	TW709-AIRBP
外寸（縦×横）		1600 mm × 680 mm	2600 mm × 1340 mm
重量		3.5 Kg	8.0 Kg
構成	内装シート	破片等の飛散防止	
	外装シート	内装シートの保護および位置ずれの防止	
耐用年数		4年（異常作動の未発生または使用台数250台以下/年）	

1. 運転席側

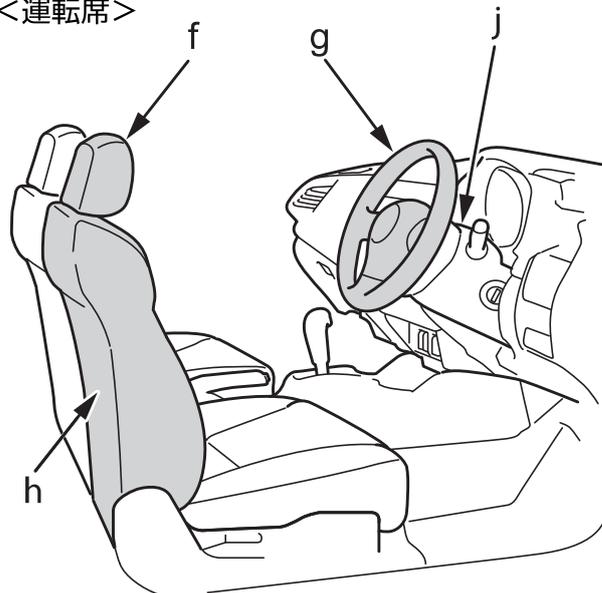
各部の名称

<防護シート>



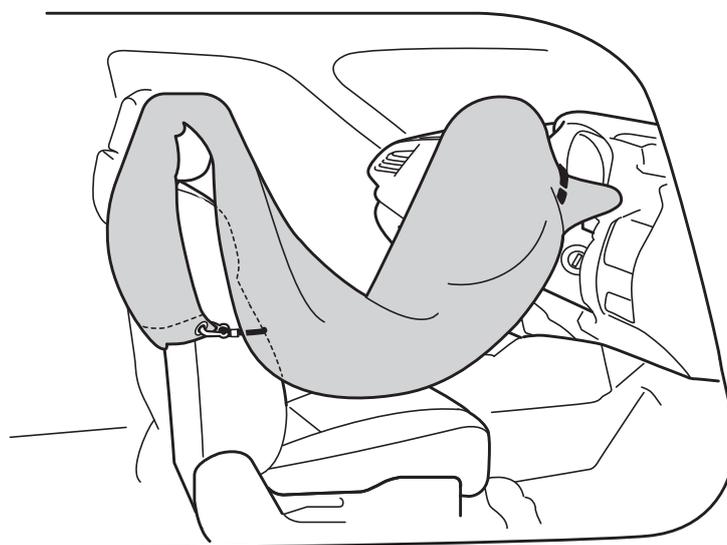
- (a) 補強カバー (裏面)
- (b) 取り付けガイド (裏面)
- (c) 固定用ベルト
- (d) 固定用ベルトバックル
- (e) ゴムバンド

<運転席>



- (f) ヘッドレスト
- (g) ステアリングホイール
- (h) シートバック
- (j) ステアリングコラム

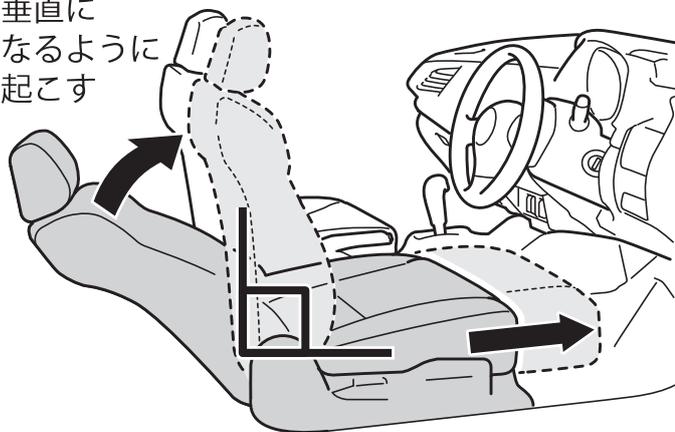
防護シートの取り付けイメージ



防護シート取り付け前の調整

<シートの調整>

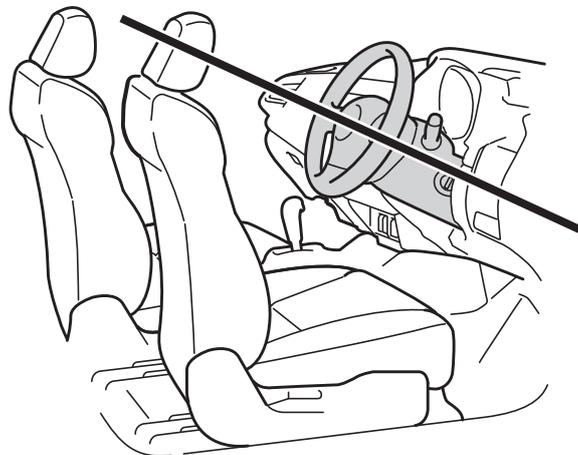
垂直に
なるように
起こす



前方へスライド

<ステアリングの調整>

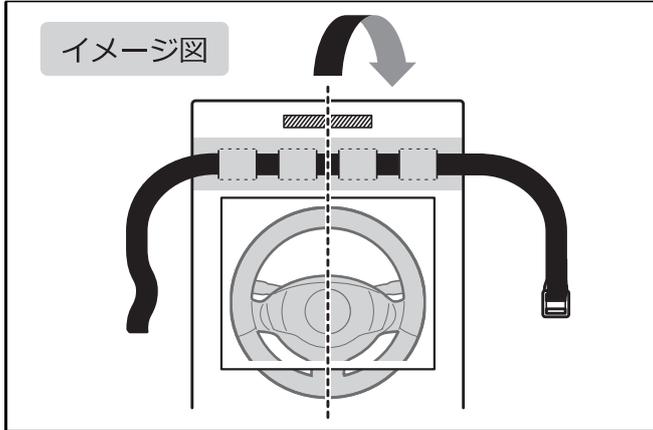
ステアリングコラムとヘッドレストが
同一線上になるように調整



ステアリングホイールへの取り付け

⚠ 警告

- ・十分な作業スペースを確保したうえで、エアバッグの正面位置を極力避けて作業をおこなうこと
- ・作業するには必ず「エアバッグ類適正処理情報」に示された安全対策をおこなうこと



* イラストは位置合わせのイメージ

⚠ 注意:

ステアリングホイールの正面で作業をおこなわないこと

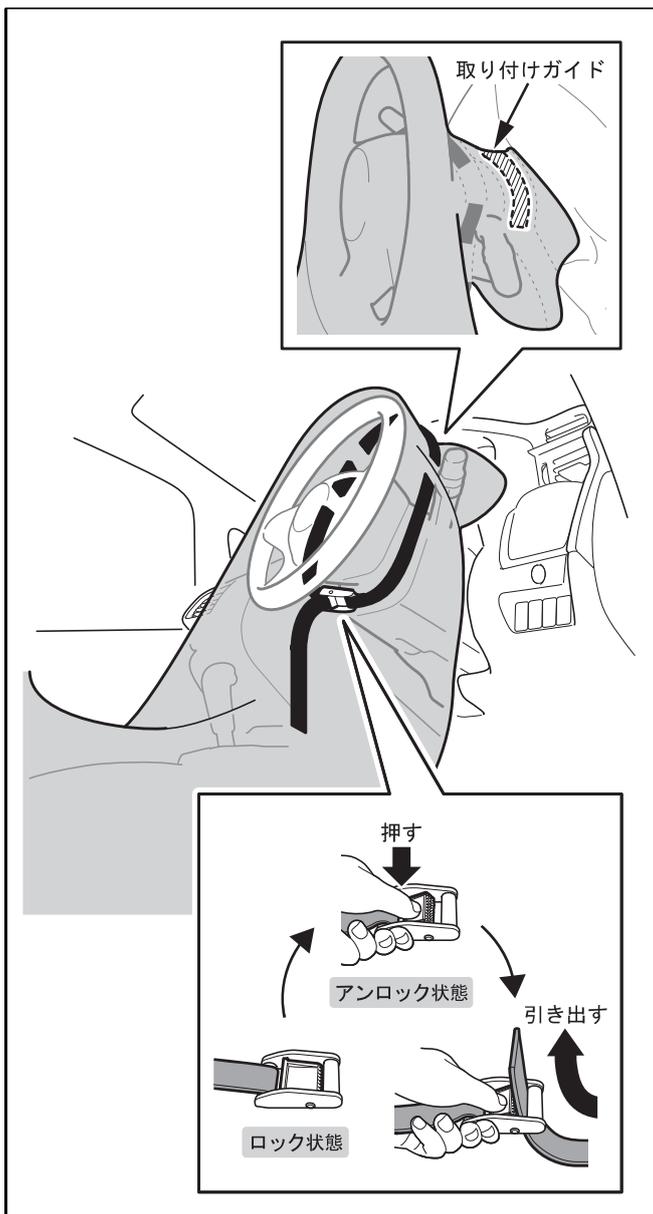
- 1: ステアリングホイールのセンターと、防護シートの左右センターを合わせる。
- 2: 補強カバーがエアバッグパッド面に当たるように防護シートを被せる。

3: 取り付けガイドをステアリングコラムにはめる。

4: ステアリングホイールが防護シートでしっかりと覆われていることを確認し、固定用ベルトを確実に締付けて固定する。

👉 知識:

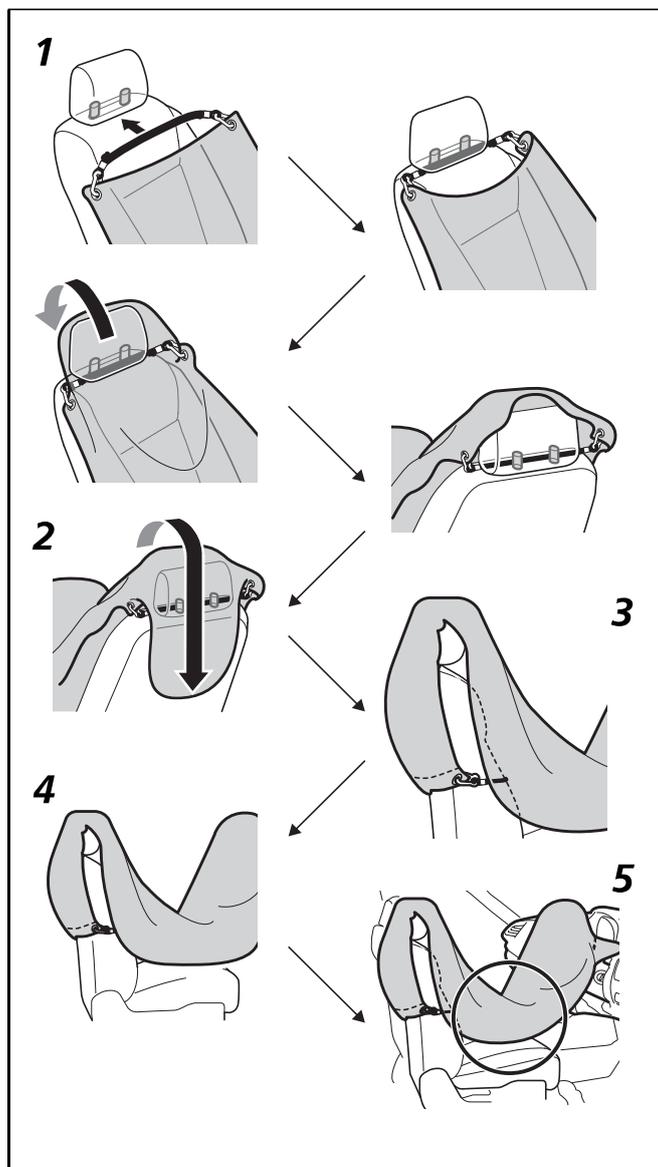
- ・補強カバーでステアリングホイールをしっかりと覆っていること
- ・固定用ベルトは緩みなく締付けること



シートへの取り付け

⚠ 注意

・ヘッドレストが上がっている場合は、一番下まで下げる



1: シートバックとヘッドレストの間に、前方からゴムバンドを差し込む。

👉 知識：

必ずヘッドレスト取り付けロッドに当たるまでゴムバンドを入れること

2: ヘッドレストを完全に覆い、防護シートがシートバックの上半分以上まで掛かるように更に覆う。

⚠ 注意：

・ステアリングコラムの延長線が、シートバックを覆った防護シートの内側に収まっていることを確認すること

3: ゴムバンドをシートバックの真ん中付近まで引きおろす。

4: ステアリングコラムから伸びるセンターラインと、防護シートのセンターラインを合わせる。防護シートの左右に傾きがないように調整する。

5: ステアリングホイールから座席間の防護シートにたるみを持たせる。

作動実施前の点検

1: 取り付け各部に緩みや外れがないことを確認する

⚠ 警告

- ・ステアリングホイールが防護シートで確実に覆われていること
- ・ヘッドレストを完全に覆い、防護シートがシートバックの上半分まで覆われていること
- ・ステアリングコラムの延長線が、シートバックを覆った防護シートの内側に収まっていること
- ・ステアリングコラムから伸びるセンターラインと、防護シートのセンターラインを合わせ、防護シートの左右に傾きがないように調整すること
- ・取り付け後、ステアリングホイールから座席間の防護シートにたるみがあること

<良い例>

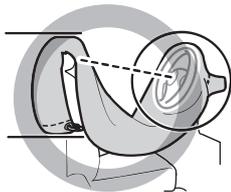
防護シートでステアリングホイールがしっかりと覆われている



シートバックの上半分以上まで下げる



ステアリングコラムの延長線がシートバック側の防護シートの内側に収まっている



防護シートの左右に傾きがない

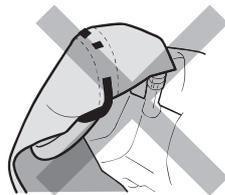


ステアリングホイールから座席間の防護シートにたるみがある



<悪い例>

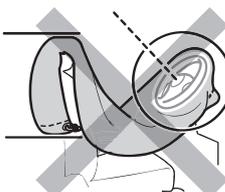
しっかりと覆われていない



防護シートが十分に下がっていない



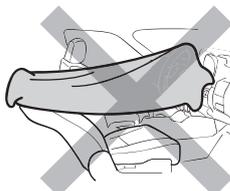
防護シートの内側に収まっていない



左右のどちらかに傾いている



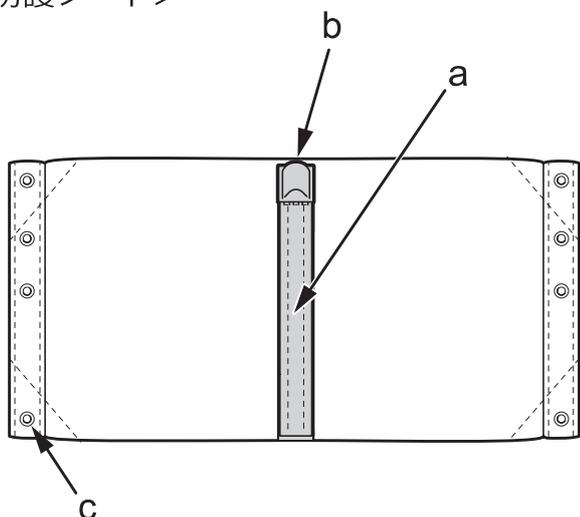
たるみがない



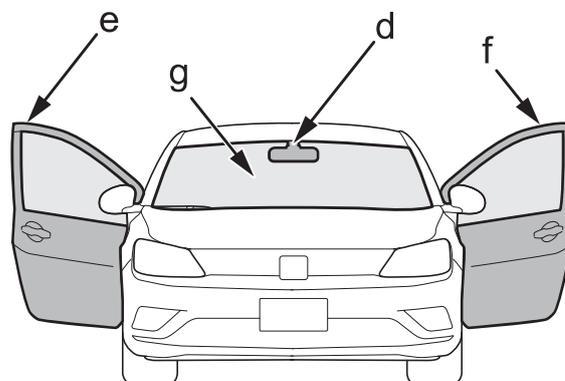
2. 助手席側

各部の名称

<防護シート>



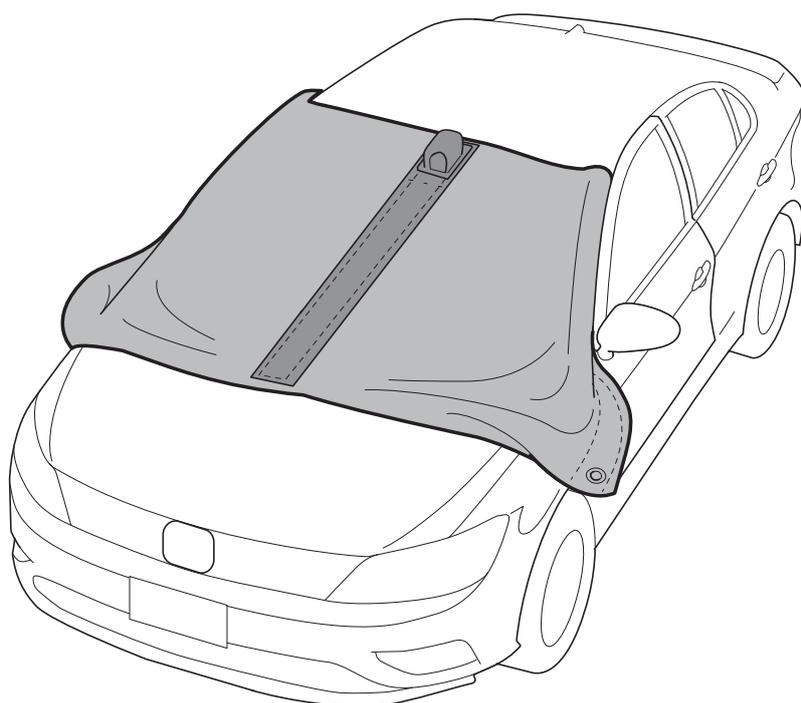
<取り付け部>



- (a) センターライン
- (b) 補助棒差し込みポケット
- (c) ハトメ

- (d) ルームミラー
- (e) 運転席ドア
- (f) 助手席ドア
- (g) フロントガラス

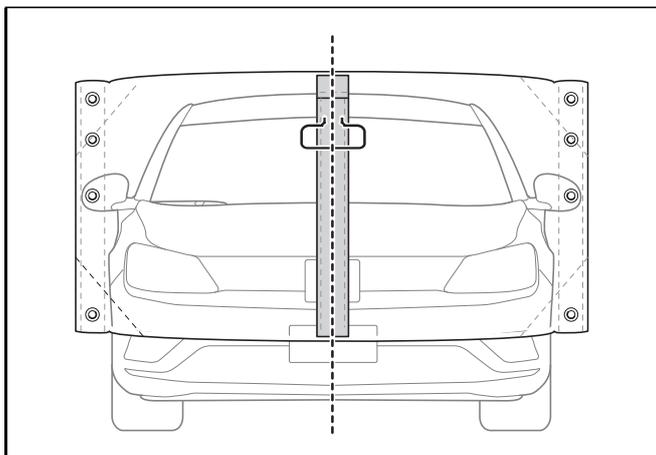
防護シートの取り付けイメージ



フロントガラスへの取り付け

⚠ 警告

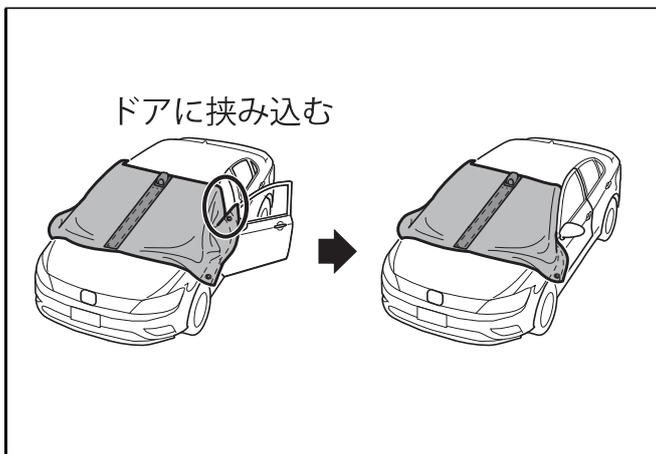
・作動するには必ず「エアバッグ類適正処理情報」に示された安全対策をおこなうこと



⚠ 注意：

フロントガラス全体を外側から防護シートでしっかりと覆うこと

1: ルームミラー等の位置を参考に防護シートのセンターラインを合わせる。

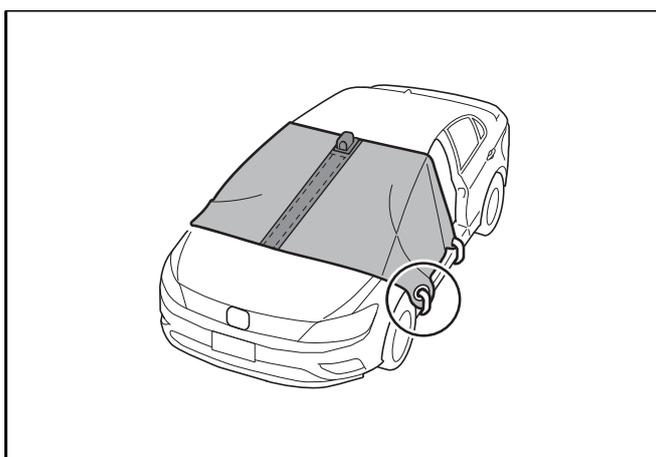


2: 運転席ドアと助手席ドアで防護シートを挟み固定する。

⚠ 注意：

- ・車両のセンターラインから防護シートがズレないこと
- ・フロントガラス全体が防護シートで覆われていること
- ・フロントガラスがない車両については、防護シートをしっかりと張ること
- ・運転席ドア、助手席ドアがしっかりと閉まっていること

* イラストは助手席側を示す



3: ドアがない車両には、シートのハトメにヒモ等を取り付け、タイヤハウス等に引っ掛けて固定する。

参考：

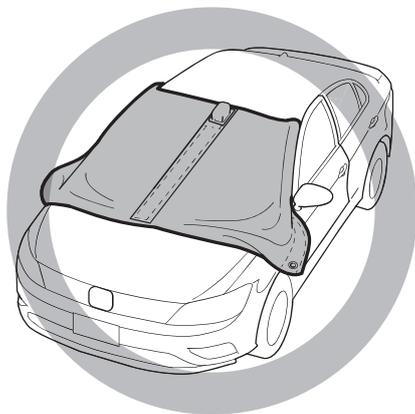
フロントガラスが大きく取り付けが難しい場合や、一人で作業をおこなう場合は棒状の物を利用すると便利です。

作動実施前の点検

1: 以下の項目を点検すること

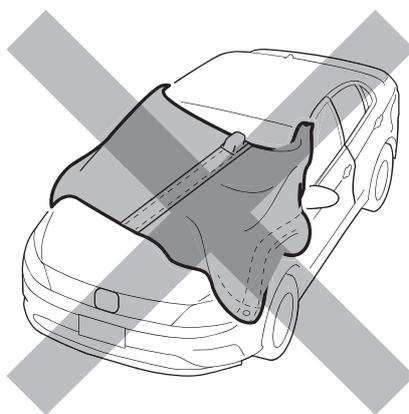
- ・フロントガラス全体が防護シートで覆われていること
- ・車両のセンターラインから防護シートがズれていないこと

<良い例>

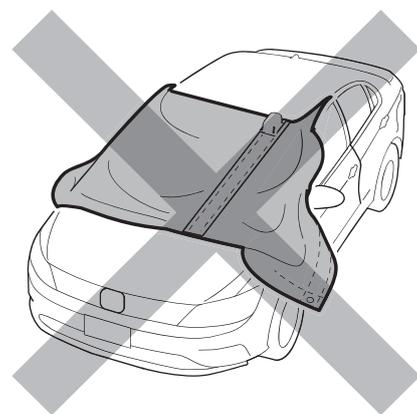


センターラインが合って、
ガラスの露出がない

<悪い例>



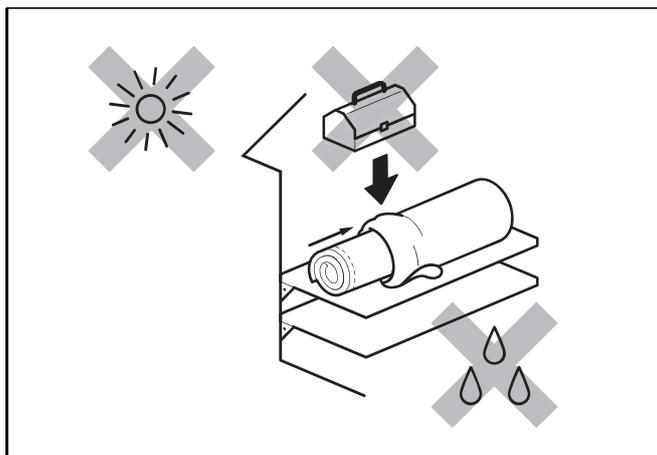
フロントガラスが
露出している



センターラインのずれ

3. その他

保管方法



- ・ 運転席用、助手席用ともにシートを折らないように丸めて収納袋に入れ、寝かせた状態で保管すること
- ・ 高温多湿を避け、直射日光の当たらない冷暗所で保管すること
- ・ 床に直置きせず、水濡れ等を避けること
- ・ 上に物をのせないこと

お手入れ

- ・ シートが水濡れした場合には、速やかに布等でふき取り風通しがよい日陰で干してください。
- ・ 油で汚れた場合は中性洗剤を水で 10 倍～ 20 倍に薄めてタオルに染み込ませて叩いてください。

修理・廃棄について

修理・廃棄の際には下記連絡先までお問い合わせください。

問い合わせ先：ノーベル工業株式会社 防護シート係

TEL：03-3492-0551（大代表）

保証について

購入後一年以内の通常使用でシートの破損が発生した場合は、無償修理の対象となります。

→ 一般社団法人 自動車再資源化協力機構までお問い合わせください。

[問い合わせ先]

一般社団法人 自動車再資源化協力機構 防護シート係

TEL：03-5405-6155

こんなときは

・異常作動が起こったとき

→一般社団法人 自動車再資源化協力機構まで必ずご連絡ください。

・通常作動後、防護シートが破損したとき

※破損とは、内装シートが露出したもの、ベルトが故障し固定できないもの

→一般社団法人 自動車再資源化協力機構までお問い合わせください。

[問い合わせ先]

一般社団法人 自動車再資源化協力機構 防護シート係

TEL：03-5405-6155

エアバッグ類車上作動処理用防護シート取扱い説明書
TW709-AIRBD（運転席用）
TW709-AIRBP（助手席用）

発行 一般社団法人 自動車再資源化協力機構
発行月 2020.02
